

小児腎悪性腫瘍の治療法開発に必要な新規バイオマーカー・病理所見・画像所見を同定するための国際的前向き観察研究（UMBRELLA-J）

1. 研究代表者(氏名、施設)

兵庫医科大学小児外科 大植 孝治

2. 研究事務局(氏名、施設)

JCCG 固形腫瘍分科会 腎腫瘍委員会

3. 目的

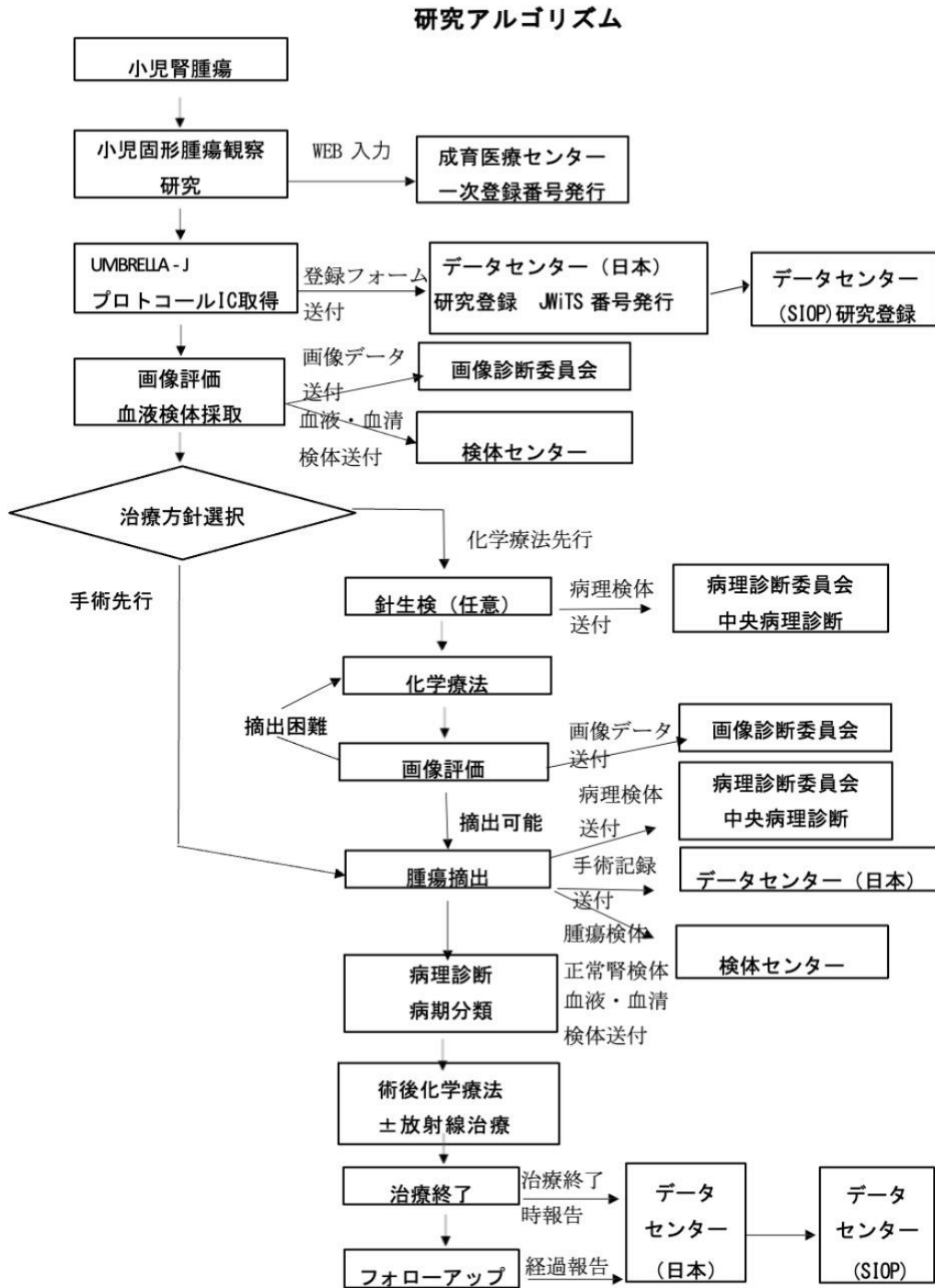
全小児腎腫瘍の重要な標準診断の手順を統一し、画像データ、病理検体、生体試料を収集して種々のバイオマーカーの検討を行い、新たな治療アプローチに必要なより良いリスク因子を見出すことを目的とする。

これにより、「層別化」した治療プロトコールを導入することができれば、全ての腎腫瘍患児の転帰および長期成績の改善が見込まれる。

4. 対象

JCCG の小児固形腫瘍観察研究に参加し、原発性または再発腎腫瘍と診断された 20 歳未満の患者。

5. 研究のアルゴリズム



6. 予定登録数と研究期間

予定登録数：100 例

登録期間：5 年

観察期間：5 年

研究期間：10 年（2022 年 4 月開始～2031 年 3 月 31 日終了予定）

7. 問い合わせ先

研究代表者：大植孝治（兵庫医科大学小児外科）